

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 19年 7月 19日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0175100239		
法人名	株式会社恵み野介護サービス		
事業所名	グループホームだんらん紋別		
所在地	紋別市落石町3丁目27番地2 (電話) 0158-26-4605		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年6月14日	評価確定日	平成19年7月19日

【情報提供票より】(平成19年4月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)15年 11月 7日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	14人, 非常勤 2人, 常勤換算 8.4人

### (2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	1~2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	26000~31,000 円
敷金	有(円)	(無)	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		900 円

### (4) 利用者の概要(6月14日現在)

利用者人数	18名	男性	7名	女性	11名
要介護1	7	要介護2	1		
要介護3	5	要介護4	3		
要介護5	2	要支援2	0		
年齢	平均 78.6歳	最低	59歳	最高	94歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	紋別みなと病院・医療法人社団河野歯科医院
---------	----------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は紋別市内に初めて開設されたグループホームであり、住宅街に位置している。ホーム長を始め、全職員が「ゆっくり・いっしょに・たのしく」という理念を基に日々のケアを実践している。また、当事業所ではアニマルセラピーを採り入れており、盲導犬を飼っている。職員のスキルアップを目指した研修への参加や、他事業所と密に連携を取るなど事業所全体の質の向上に努めている。運営推進会議を設置してから半年が経ち、会議において課題となっている地域との密なる交流やボランティア受け入れ等について、現在積極的に取り組んでいるところである。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での改善課題とされた「利用者の体型に合わせたテーブル等の準備」や「地域住民参加の行事開催」については協議されており、職員間で明確な重点項目として取り組みが行われている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価は会議において全職員で話し合い、ホーム長と管理者がまとめ作り上げている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	昨年から2ヶ月に1度開催されており、事業所の課題についての検討がなされている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	来訪時や事業所便り送付時に、利用者の身体状況や日常生活の様子を家族に伝えている。また、ホーム長は月に1度、利用者家族の自宅を訪問しており、家族と馴染みの関係を築きながら、意見・苦情等を話しやすい環境づくりに努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	ボランティアの受け入れ体制が整えられているが、今のところ訪問回数は少ない。今後、行政とも相談しながら定期的な受け入れが可能となるよう取り組む事が期待される。また、事業所の行事に近隣住民を招待するなど、地域との交流を深める事が期待される。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念の共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員は「ゆっくり・いっしょに・たのしく」という理念を理解しており、事業所内のみならず、運営推進会議を通して地域においても理念を広めることに努めている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員採用時の研修において理念を伝えたり、会議において確認することにより、職員間での共有化を図っている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入しており、地域との交流に努めている。また、お茶会のボランティアを受け入れている。	○	今後、定期的にボランティア訪問を受け入れたり、事業所の行事に近隣住民を招待するなど、地域と更なる交流を図る事が期待される。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今までの外部評価における改善項目について、会議で話し合い改善に取り組んでいる。また、今後の課題について職員間で共通認識されており、具体策を検討中である。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>昨年から2ヶ月に1度開催されており、運営推進会議設置の目的が地域に対して徐々に理解されてきている。</p>	○	<p>設置当初は、運営推進会議の必要性や地域における当事業所の役割等が明確ではなかったが、アドバイザー的な委員が加わって討議を重ねることにより、地域住民への理解が広まってきており取り組みが期待される。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>ホーム長は、地域包括支援センターの運営委員会やケア調整会議へ参加し、日常的に市と連携を取り、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>来訪時や事業所便り送付時に、利用者の健康状態や日常生活の様子を報告している。また、月に1度、利用者家族の自宅を訪問し、金銭出納報告を含め、利用者の日々の様子を伝えている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>月に1度の家族宅訪問時や来訪時に、不満・苦情等について家族が気軽に話せるような雰囲気づくりに努めている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員異動の際には、馴染みの関係を大切にし、利用者への十分な配慮を心がけている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内外で行われる職員研修に参加したり、他事業所への視察を行っている。また、職員一人ひとりの年間目標を明確にし、全職員で話し合う機会を設け、育成を図っている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>遠軽・紋別地区の事業所による勉強会を実施している。また、網走ブロック協議会の立ち上げに携わっており、ネットワークを活かしたサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>日帰り利用により、利用者本人が安心してからの入居となるよう配慮している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者の職歴・生活歴を把握し、人生の先輩として利用者から学ぶ姿勢を大切にしながら、場面づくりや声かけを行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	利用者同士の話にも耳を傾け、一人ひとりの希望・思いの把握に努めている。		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	利用者本人・家族の同意を得ながら、アセスメントに基づいた介護計画を作成している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	職員は情報を共有しながら介護計画の見直しを行っている。	○	今後、介護記録を活用しながらモニタリングに活かし、現状に即した介護計画の見直しを実施することが期待される。
<b>3.多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況に応じ、通院の送迎など柔軟な支援を行っている。また、要介護5の利用者へも医療機関と連携を取りながらの生活支援を実践している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者のかかりつけ医や協力医療機関と連携を取りながら、適切な医療支援を実践している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化した場合の利用者について、終末期に向けどのように支援するか、検討課題として取り組んでいる。</p>	○	<p>終末期の対応についてマニュアルを作成したり、本人・家族との話し合いの場を設ける事を計画しており、実施が期待される。</p>
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者の誇りを傷つけることのないような、尊厳を大切にした支援を心がけている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>職員同士で工夫をしながら、利用者一人ひとりのペースを尊重した支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と共に料理の下ごしらえや調理を行っており、職員は食事も大切な支援として捉えている。また、職員は利用者と一緒に食事を摂り、料理の味や固さなどについての会話も大切にしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の健康状態や希望に応じた入浴支援を行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの生活歴を把握しながら、食事の後片付け・野菜の手入れ・花植えなど本人の力を活かした役割支援を行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望に応じた外出支援を実践している。また、少し離れた場所にある事業所の畑まで作業に通う利用者もあり、出来る限り戸外に出かけられるような支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	防犯上、夜間9時以降は施錠しているが、日中は職員が利用者の安全に心がけ、施錠しないケアを実践している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回の避難訓練を実施しており、緊急時の連絡網が整備されている。	○	今後は、地域の協力を得られるよう、運営推進会議を通して働きかけを行う取り組みが期待される。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事・水分摂取量をチェック表に記録しており、職員は情報を共有し、利用者の状態に応じた支援を行っている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間は家庭的な雰囲気をもつ飾り付けの配慮がされている。また、中庭には芝生スペースが設けられており、夏期間には中庭で食事を摂るなど、季節感を感じられる取り組みを行っている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室のドアには、利用者ごとに色がつけられており、自分の部屋という意識が持てるような工夫がなされている。また、居室内には仏壇・家族の写真などが持ち込まれ、居心地の良い空間が作られている。		

 は、重点項目。